

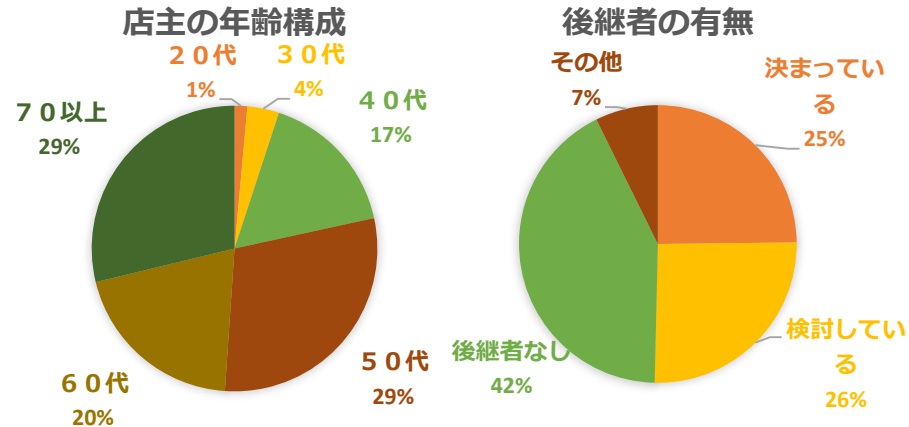
商店街空き店舗対策の担い手強化・連携事業(すみれリビング株式会社)

課題と目的	商店街店主の高齢化や後継者難によって、近い将来空き店舗問題に直結する可能性がある。その実態把握を行うことによって、空き店舗問題が深刻化する前に産学官で情報共有をし、解決策を推進する礎を築く。
取組内容	①地元高校生の活動拠点(インキュベーション施設)の設置 ②空き店舗・事業承継実態調査の実施 ③空き店舗・事業承継実態調査結果発表会・専門家講演 ④③の産学官における共有(データの配布・課題認識) ⑤今後の展開(来年度の展望)
成果	商店街内に設けたインキュベーション施設によって、高校生の商店街に対する理解が深まった。弊社をはじめ、地元高校生、商店街、高山市(都市計画課)が、「商店街空き店舗・事業承継実態調査」の結果を共有することによって、現状の問題を把握することができた。これによって、解決策推進へと向かう礎が築かれた。

取組内容

- ①インキュベーション施設の設置
 - ・岐阜県立飛騨高山高等学校商業研究部生徒による開発商品販売、交流、空き店舗・事業承継実態調査への協力。
 - ・商店街理解。
- ②空き店舗・事業承継実態調査の実施
 - ・アンケートの作成(商店街振興組合連合会と質問項目の検討)。
 - ・アンケートの配布・回収(岐阜県立飛騨高山高等学校商業研究部に委託)。
 - ・アンケートの集計(すみれリビング株)
- ③空き店舗・事業承継実態調査結果発表会・専門家講演
 - ・結果発表会(すみれリビング株・飛騨高山高校商業研究部)
 - ・専門家講演(名古屋学院大学現代社会学部教授 古池嘉和)
- ④③の共有
 - ・高山市商店街振興組合連合会事務局、高山市都市計画課へのデータ配布
- ⑤今後の展開(総括)

高山市中心市街地商店街空き店舗化のリスク



近い将来、空き店舗問題が顕在化する可能性がある。若い世代が商店街に興味・関心を持ち、出店しやすい環境づくりを、これまでの連携・協力関係を維持しながら推進したい。